



### 杉並区議会議員 脇坂たつや

●事務所(自宅)  
〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-27-10  
TEL. & FAX.3391-7717  
●区議会控室  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1  
TEL.3312-2111(内線2307)

ブログ



発行日 2014.5 vol.10

## ★施設再編整備計画が策定されました

杉並区区立施設再編整備計画(第一期)が策定されました。少子高齢社会の本格到来や、区税収が今後減少傾向にあることを考慮すると、区政にとって公共施設の再編は避けて通れる課題ではありません。とは言っても区民に直接的に影響を及ぼすものであり、昨年9月に、区は施設再編整備計画の素案を示した以降も、幾度にわたって説明や改正、パブリックコメントを行い、議会からの要望も取り入れていながら、この間、丁寧に策定作業に努めてきたと言えます。また、区は「時代と共に変化する区民ニーズに的確に応える」と述べてきましたが、現実を見極めながら、現在と未来のバランスを取ったことには評価を致します。私は、この計画に関しては、施設が再編され縮小してしまうといったネガティブなものとして捉えるのではなく、夢のあるポジティブなものとして捉えていくことこそ重要な視点だと考えております。新しい複合化施設が性別や年齢を超えて、また障害の有無等を気にすることなく交流出来る拠点となり、その施設を中心として、地域が一体となってまちづくりに繋げていくことが出来れば、本当に素晴らしいことだと思います。施設再編整備は、これからが本当の始まりです。これまで、区は計画策定の考え方に重きを置いて、議論を深めてきましたが、方向性がある程度定まった以上、個別具体的な施設について精査をしていかなければなりません。区に対しては、地域との協議をする際には、区民の声に耳を傾けていながらも、そもそもの背景を忘れることなく、一つ一つ丁寧に検討を進めて頂くよう、要望した次第です。皆さんと一緒に、施設再編整備を通して、新しい時代のモデルを示していけるように、私も努力してまいります。

### ●阿佐谷の施設再編整備計画

施設再編整備計画の中でも、とりわけ私が暮らす阿佐谷地域では、公共施設の老朽化が進み、具体的な施設について再編整備が計画されています。以下、内容を記載致します(施設再編整備計画より抜粋)。

- 1 杉並第一小学校は築後56年を経過しており、老朽化に伴う改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能を集約することを基本に、地域のまちづくりの動向等も踏まえつつ、移転・複合化を図ります。なお、複合化にあたっては、小学校と他施設の動線の分離や校庭面積の確保など、学校の教育環境の確保を最優先に考え、地域の活性化や区民の利便性の向上の視点などから具体化を図ります。
- 2 阿佐谷地域区民センターは、移転までの間、現在の施設を継続し、産業商工会館廃止に伴う集会や展示などの機能の代替施設としても活用します。また、中にある図書室は、利用者が

阿佐谷地域内公共施設の具体的な取組	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
杉並第一小学校の改築に合わせ、阿佐谷地域区民センター・産業商工会館の集会関連機能を集約を基本に移転・複合化		検討・調査	設計		建設
杉並第一小学校改築までの間、阿佐谷地域区民センターの継続利用と合わせ、産業商工会館廃止に伴う集会機能・展示機能の代替施設として活用			阿佐谷地域区民センターの継続利用 産業商工会館の代替施設として活用		
阿佐谷地域区民センター内図書室の廃止・集会機能への転用		廃止	改修	転用	
産業商工会館の跡地に地域団体等が利用出来る暫定的な集会施設の設置		廃止	解体	建設	暫定集会施設の運営
展示場機能と杉並会館のレセプション機能の整備のあり方検討	検討				
ゆうゆう阿佐谷館を阿佐谷区民事務所・同会議室に移転		移転			
就労支援センター事業をあんさんぶる荻窪へ移転		移転			
阿佐谷区民事務所・同会議室をゆうゆう阿佐谷館に転用			転用		
阿佐谷区民事務所会議室の利活用と段階的な廃止			廃止	転用	

減少しているため廃止し、産業商工会館廃止に伴う集会機能を継続する場に転用します。

- 3 産業商工会館は、老朽化により耐震性が不足しており、バリアフリー化も図られていません。施設の構造上の理由から、簡易な工事での対応が難しいことから、利用者の安全性等を確保するため、現在の施設を平成26年度末に廃止し、杉並第一小学校の改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターとともに集会関連機能の集約を基本に移転・複合化を図ります。展示場の機能は、関連性のある杉並会館のレセプション機能と合わせて、引き続き幅広く区民の意見も聞きながら整備のあり方について検討します。また、廃止後の跡地に地域団体等が利用出来る暫定的な集会施設を設置し、複合施設が出来るまでの

間、活用します。併設のゆうゆう阿佐谷館は、平成27年度から阿佐谷区民事務所及び阿佐谷区民事務所会議室に移転し、地域コミュニティ施設への移行に向けたモデル的な取組を進めます。合わせて、産業商工会館内にある就労支援センター事業は、あんさんぶる荻窪へ移転し、福祉事務所との連携を強化します。

\* \* \* \*

私は今回の予算特別委員会の中でも、特に時間を割きながら、これらの課題について意見・質問をしてまいりました。特に、産業商工会館については、耐震性が不足していて、バリアフリー化も図られておらず、簡易な工事これを改善するのは困難ということですから、利用者の安全性を確保する為に、平成26年度末で廃止するという判断は致し方ないものと考えます。しかし、この施設がなくなると阿佐谷南と成田エリアは、集会室の空白地帯になってしまいます。また、阿佐谷地域区民センターは今でも利用率が90%を超えており、産業商工会館の機能も合わせ持つことになれば、更にこの傾向に拍車がかかり、ますます予約が取りにくくなるでしょう。そこで、私は、地元の方々の意向も聞いた上ですが、少なくとも杉並第一小学校に移転するまでの間は、暫定的に、廃止後の産業商工会館の跡地に阿佐谷地域区民センターを補完する集会機能をもった施設を、簡易な建物でも構わないので設置してほしいと要望致しました。その結果、区は計画案を改定することとなりました。阿佐谷のまちづくりや施設再編整備に関しては、皆さんも色々な考えをお持ちのことと存じます。こうした状況下において、今回は地域の要望が受け入れられたものの今後全ての思いが叶えられる訳ではありません。しかしながらこれからも「住んで良かった」「住んでみたい」と感じて頂けるようなまちでいられるように、私も精一杯頑張っまいります。



## ★平成26年度予算～未来へ駆ける予算～が決定、会派を代表して意見を述べました！

2月から3月にかけて平成26年杉並区議会第1回定例会が開催されました。予算特別委員会では、平成26年度杉並区予算の審議が行われ、私は会派を代表して意見の開陳を行いました。区議会においても非常に重要な発言の場であり、こうした機会を与えて頂いたことに、心から感謝しております。私たち杉並区議会自由民主党は、今予算に対して①基本構想の実現に向けた内容となっているか②区民の喫緊の課題を的確に汲み取り、それに応える内容となっているか③区民の自立を促し、地域でお互いに連携を深めていくように後押しし、区がそれを補完する内容となっているか④将来世代にとって、課題を先送りしない内容となっているか⑤国や都との連携や支援を受けながら、区として持続可能で財政運営が出来ているか⑥行財政改革に取り組み、効率的且つ筋肉質な区政運営を行うことで、区民から全幅の信頼を得ることが出来る内容となっているか、という視点を持って、議案を精査し、質疑を重ね、審議を行ってきた次第です。その結果、私たち会派は予算に賛成し、杉並区議会において平成26年度予算が可決・成立致しました。以下、予算の概要と、それに対する主な意見です。

### ●平成26年度予算～未来へ駆ける予算～

#### <予算規模>

- ・一般会計 1611億5000万円 (前年比3.4%増)
- ・特別会計含む総予算 2651億5661万円 (前年比3.4%増)

#### <3つの重点分野>

##### ①安全でにぎわいのあるまちづくり

- ・防災行政無線のデジタル整備
- ・都から不燃化特区の指定を受けた木造密集地域の解消推進 (阿佐谷南・高円寺南地域)
- ・狭あい道路の拡幅整備 ・多心型まちづくりの推進 ・商店街支援
- ・都市農業への支援 ・杉並ナンバープレートの普及 ・仮称荻外荘公園の取得 等

**意見1** 防災対策については、いつ首都直下地震が起こるとも限りませんし、ハード・ソフト両面において早期の更なる強化を求めました。

**意見2** まちづくりについては、施設再編整備計画の話とも相まって、各地域でその機運が高まってきています。まちづくりは地元発信によるものが理想であり、区には地元の意向を尊重しながら、側面的に支援して頂くよう、求めました。

##### ②福祉の向上で安心を実感

- ・保育待機児童対策の推進 ・学童クラブの整備 ・特別養護老人ホームの整備
- ・高齢者施策の充実 ・障害者施策の充実 ・がん対策の推進 等

**意見1** 保育待機児童対策については、子育て世代のニーズに応えるべく、引き続きの保育所整備に臨んでいかなければなりません。国や都と連携を取りながら、抜本的な問題の解消に努めて頂くよう、求めました。合わせて、子育て世代の中には、家庭で子供を育てている方も多くいますので、この点も配慮していきながら、総合的な対策を講じて頂くよう、要望しました。また、今後加速的に進んでいく少子高齢社会も見据えた上で、多くの若者世代が子供を産み



育てたいと願い、その環境が整っている杉並であってほしいと、重ねて申し上げました。

**意見2** 区は、仮称杉並区健康づくり推進条例の制定に向けて、現在準備を進めています。詳細は議案が提出されてからの審議に委ねられることとなりますが、健康寿命を延ばすことを目的に、従来の個人による意識や努力に任せるのではなく、社会全体で支えていこうという視点には、私たちも共感しております。広く区民や関係者の声を反映させた上で、議案を提出して頂くよう、要望しました。

##### ③次世代支援のさらなる拡充

- ・次世代育成基金の活用 ・小中一貫教育の推進等の地域に応じた新しい学校づくりの推進
- ・ICT教育の充実 ・若者世代への就労支援 等

**意見1** ICT教育については、電子黒板付きプロジェクターの小中学校の全教室への設置と、タブレットパソコンの導入が行われます。子供たちにとっては、効率的に勉強することが出来るようになり、また物事を立体的・三次元に捉えることで、理解も大きく進むことになるだろうと、私たちも期待しております。しかし、子供たちにとって、可視化されるものが増え、考える力や想像力が育たなくなるのではないかとという点と、膨大な情報に振り回されてしまうのではないかとという点については不安が残ります。また、タブレットに夢中になって、友達や家族・地域とのコミュニケーションが失われてしまえば、元も子もありません。子供たちに誤った

使い方をさせないように、学校と家庭と地域がしっかりと連携を図っていくことが重要です。ICT教育には注意すべきこともありますが、肝心なことさえしっかりと押さえておけば、非常に有用なものとなり得ます。新しい時代を切り開いていく子供たちには、是非私たちが想像もつかないようなアイデアをもって、様々な挑戦をしていく杉並の若者に育ててもらいたいと望んでおります。教育委員会には、こうした点を踏まえた質の高い教育をして頂くよう、求めました。



### 脇坂たつやプロフィール

- ☆杉並生まれ杉並育ちの現職最年少31歳 (家族揃って阿佐谷南在住)
- ☆早稲田大学 政治経済学部 経済学科 卒業 (杉並稲門会 会員)
- ☆民間企業に5年間勤務後、2010年7月、杉並区議会議員選挙にて初当選
- ☆2011年4月、杉並区議会議員選挙にて2度目の当選
- ☆杉並区議会 議会運営委員会 理事
- ☆杉並区議会 総務財政委員会 委員長
- ☆杉並区議会 道路交通対策特別委員会 委員
- ☆杉並区議会自由民主党 政務調査会長
- ☆自由民主党杉並総支部 事務局長
- ☆杉並消防団 第6分団 班長
- ☆公益社団法人東京青年会議所 杉並区委員会 副幹事
- ☆2児の父として日々、子育てに奮闘中！

